

「香川薬学部に進学して気づくこと」

香川薬学部は地方にある私立大学です。しかし、地方の私立大学と聞くと、なんとなくマイナスのイメージをもたれていませんか？もしそのようなイメージがあるとしたら、次のアンケート結果を見てください。

Q1. 入学前の香川薬学部のイメージについて具体的に書いて下さい。

- 田舎
- 小規模
- まじめではなさそう
- 勉強が難しそう

などのネガティブなイメージが多い。

Q2. 入学後に香川薬学部のイメージはどのように変わりましたか。

- まじめで結構優秀な学生が多い。
- 設備が整っていて、キレイ。
- 雰囲気がいい。
- 先生が熱心で良い。

などの**ポジティブなイメージ**に変わっている。

これは、香川薬学部の1年生を対象に実施したアンケートの結果です。Q1の答えにあるように、確かに「入学前は」、多くの学生さんがなんとなくマイナスのイメージをもたれています。そのようなイメージは、受験生自らが具体的に体験して作り上げたイメージというよりも、残念ながら、受験雑誌など周囲からの風評によって作られた場合が多いようです。私たちが受験生のみなさんに香川薬学部のことを正しく知っていただく努力が不足していたと、反省しなくてはなりません。しかし、Q2の答えを見てください。「入学後」、実際に香川薬学部で授業を受け、クラスメートと親しくなっていくと、学生さんたちは「香川薬学部に入學して良かった！」と心から思えるようになるようです。つまり、香川薬学部のイメージはポジティブなものへと大きく変わっていきます。

すなわち、香川薬学部が「香川県さぬき市」という地方に存在するという点や、また、世の中には国公立大学に対するブランド意識があるため、私立大学である本学・香川薬学部にも、どうしても実像とはかけ離れたマイナスのイメージをもたれてしまう点が、入学前のみなさんにはあるように思われます。もし、このような理由から香川薬学部に対して不安を抱いている受験生がおられました

ら、ぜひとも [「いつでもオープンキャンパス」](#) に来てみてください。入学するとどれだけ充実した大学生活が待っているのか、いつでもご紹介いたしますし、学内のいたるところをご案内いたします。

さらに、学生さんたちが香川薬学部満足してくれている点を列挙してみましよう。

- (1) 教員が多く、学生一人一人に目が行き届いている点があります。全学生数と全教員数との比率を計算しますと、教員1人あたり約8人の学生の面倒を見ていることとなります。これは他の薬科大学や薬学部では考えられないほど恵まれた数値です。



- (2) 世界トップクラスの実習設備・実験設備が整っています。
学生さんたちはこれらの設備を実習や研究で思う存分使うことができます。



- (3) 近隣にある香川大学医学部ならびに香川県立保健医療大学と [「香川総合医療教育研究コンソーシアム」](#) を構成しており、医師・看護師などの卵たちとともに、チーム医療を学ぶことができます。
- (4) 就職も絶好調です。これは別途[ホームページ](#)でご紹介しますが、求人件数で6倍以上（就職求人を出してこられた薬局・病院・企業の数÷卒業予定学生数）、求人数で30倍以上（全就職求人数÷卒業予定学生数）という超売り手市場です。
- (5) 国立大学、しかも旧帝国大学の、理学部や工学部を卒業して、その後、香川薬学部にも再入学された方も数多くおられます。このことは、香川薬学部が立派な薬剤師を目指すための「優れた薬学教育の場」とであると、客観的に認められている証拠だと言えます。

このような香川薬学部にも、多くの学生さんたちが満足してくれています。ぜひとも受験生のみなさんは、自分の目で見て、進学先をお決めいただければ幸いです。